

◆◆網走地区漁船組合員大会開催

－沖合底曳網－

【全国発信記事】 道東支部 網走地区

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を万全にして開催

道東支部では、2月5日13時30分から網走地区漁船組合員大会を網走漁協の2階大ホールで開催した。現在も猛威を振っている新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策（検温・手指消毒・アクリル板設置による飛沫感染防止・ソーシャルディスタンスに配慮）を万全にした上で、網走沖合底曳網漁船3隻から各船内委員長と組合員1人ずつの計6人が出席した。

はじめに清水誠道東支部長が座長となり議事を進め、わが国の漁業の現状、海員組合の取り組み、道内・沖合底曳網漁船の現状、網走地区沖底船に関する取り組みについて報告し理解を深めた。

コロナ禍で組合員の生活も厳しさを増している。

現状に沿った要求が必要との声！

- 令和3年度労働協約改定要求案の提案に関する意見交換を行い、現場組合員からは
- ①引き続き連続就労の取り扱いの順守を求めている
 - ②取り巻く環境はコロナ禍の厳しい状況の中、組合員の生活も厳しさを増しており、現状に沿った諸手当の新設を検討し要求することも必要ではないか
 - ③その他の事項でゴールデンウィークの休日は昨年同様、早急に日程を確認してもらいたいなどの意見が述べられ理解を深めた。

要求書の策定については、本日の意見を踏まえ、各船内委員長と連携することを確認し、網走地区漁船組合員大会を終えた。

「海員だより」